

## ガバナー挨拶

ガバナー 松本 康子

皆様こんにちは

大変新しい新会員の皆様がいらっしゃいまして、本年度ガバナーを勤めさせていただいております中央ロータリークラブ。この中分区から出させていただきました松本恭子でございます。

大変未熟な私なのですがここにいらっしゃる皆様のお助けをいただいて無事日々を送らせていただいているガバナーでございます



ですので大変この中文句は私にとって大切な皆様方でございます

今日インターシティーミーティング開催ということでまずお慶び申し上げます

2830 地区は 6 つの分区がございましてそれぞれにガバナー補佐の思いのこもりましたテーマをもちまして先人の偉業とかロータリーをどのようにすればリーダーシップを保っていけるのかとか、それから国際奉仕はどうなのかと、それぞれの立つの文くんの方々はもうすでに力を込めたガバナー補佐のもとにインターシティーミーティングが開催されておりました

大変素晴らしい、どの分区も素晴らしい成果を上げてくださった事をまずもって嬉しく思っております、そして本日最後になりました中文句のインターシティーミーティングでございます

財団ということを取り上げていただいて、私の隣におります富岡委員長が財団の委員長になりました時から私は1 会員として財団はどうなのかなと大変難しく思っておりましたが委員長と同時に私も何年かは経過をいたしましてなんとか財団というものわかってきたと言う大変この地区は恵まれた地区だと思っております

未来の夢計画というのがございますがこれは来年北山年度から世界各国各地区で始まりまず計画でございますがそれに先立ちまして世界 100 の内のパイロット地区、試験地域としてこの 2,830 地区が選ばれました、日本は 6 つの地区でしてその中に大変小さい 2,830 地区ではございますが見事にパイロット地区という重大なお役をいただきました

そこで富岡委員長とともに皆様方がやられた 3 ヶ年という事は水資源、識字率と言う事を 3 年の間に成果を出せということでありまして先日富岡委員長、ここにいらっしゃる横浜識字率の委員と、あともうお二方 5 人でタイに行っていました、グローバル資金をいただきまして使ってやりました 2,830 地区の成果後ほど委員長から細くご説明あると思いますがこれはなかなかここまで 3 年の間やっていくということがどんなに大変なことかそして 3 年の間に私のたちが地道に学んできた 3 年というのが大変素晴らしい 2,830 地区だと感じております

そしてタイに行きました時、皆様識字率、水の環境衛生なのですがそれも学校を回りました時の子供たちの笑顔と素晴らしい眼差し呼びまして感動しました

2,830 地区は地区内外ともに頑張ってきた地区でございます、したがって財団を理解し活用しようというテーマこれはお浸りの面もありますし、これから来年度に向けて全世界で運営されます未来の夢計画のスタートになるという事を確信させていただいて今日のテーマが大変素晴らしいことだと…どうぞ皆様がいろんな質問がありましたらどんどん富岡委員長にお聞きになって理解していただければと思います

今朝実は福島から私帰って参りましてまだまだ3・11もう3年を迎えようとするときに、まだ福島は、呆然とした誰も居ない地域だという事を改めて実感させていただきました、その中で私どもの東日本大震災も絶対忘れてはいけない、そしてこれからも財団の中でいろいろな面で活用されて支援ができればなという思いで福島から帰ってまいりました。そのようなことで今日は皆様方の心の中に財団のシステム、どうすればいいのか、どうやって協力できればいいのか、そうやって、お一方ずつの心の中に描いていただければ大変インターシティーミーティングの成功と、いうことになると思っていますので今日は財団に対するご理解の一日でありますようにお祈り申し上げて、ご挨拶をとさせていただきます

本日はよろしくお願い申し上げます。